



# 情報通

2023 . July

7月号

発行：東京税理士会  
情報システム部  
題字：神津 信一（四谷）  
（税理士会員章の日輪と八重桜をイメージしています。）

## TAINSを活用しましょう

前情報システム部 部長 興津 亮一

### 【はじめに TAINSとは】

『原告らは、甲が代表者あるいは実質的な経営者として経営する会社であるところ、甲が複数の接待飲食店を利用した際の代金を原告らの業務のための交際費として支出したとして、それぞれ、法人税等の確定申告において、上記支出額を損金の額に算入して申告した。

しかし、その後を受けた税務調査において、上記支出額には甲の個人的な飲食代金の金額が含まれているのではないかとの指摘を受けたことから、原告らは、指摘に係る支出額の相当部分（本件各支出額）を損金算入せず、甲への貸付金とする旨の法人税等の修正申告を行った。

〇〇税務署長は、本件各支出額について、原告らが取引先等を接待した事実がないにもかかわらず、これを交際費として総勘定元帳に記載していたことなどが、国税通則法68条1項の「事実の全部又は一部を隠ぺいし、又は仮装し」たことに当たるとして、原告らに対し、本件各修正申告に係る重加算税の各賦課決定処分をした。

本件は、原告らが、本件各支出額は飽くまで取引先等の接待のために要した交際費であるから本件各賦課決定処分は課税要件を欠き、またその手続にも違法があるなどと主張して、被告を相手に本件各賦課決定処分の各取消し等を求める事案である。』

これは、TAINSに掲載されている「地裁判決Z270-13406」の概要の冒頭部分です。

会報では、TAINSに収録されている判例等を、「SERIES TAINS解体新書」として紹介されていますが、情報システム部では「TAINSとの連携を密にし、会員への情報提供について検討を行うとともに、TAINSを利用した判例研究研修会の開催等会員の利便性に資する施策を行う」を事業計画に織り込んでいますので、今回は、TAINSの最近の取り組み等についてご紹介します。

そもそもTAINSとは？ですが、税理士に必要な税務に関する判決・裁決・課税庁の内部文書、そして、関連する雑誌目次等の様々な情報が収録されているデータベース、およびそれらの情報を検索・閲覧するためのサービスで、「税理士がつくる、税理士のためのデータベース」なのです。

今ではインターネット上に情報が溢れていて、検索をすればある程度の情報は得られますが、その情報が正確なのかは情報を得る側で判断しなければなりません。その点、TAINSには正確な情報が税理士の視点でまとめられていますので、税理士の業務には欠かせないツールとなっています。

### 【TAINSに入会しよう】

税理士であれば30日間無料でお試しいただけます。

TAINS公式サイトトップページ<https://www.tains.org/>にアクセスし、「無料お試し会員受付中」のボタンから申込みを行ってください。

また、新規に税理士登録された方には、一昨年8月から6か月間無料の制度が始まっています。トップページの「新規税理士登録者の方へ」をご覧ください。入会申し込みボタンから申込みを行ってください。※令和3年5月以降に税理士登録した者（個人）で、税理士登録した日の翌月から6か月以内に入会申込をした方が対象になります。詳細については、申込みページでご確認ください。

### 【まずは検索方法の特徴を理解しよう】

TAINSにはさまざまな検索方法があります。それぞれに特徴がありますので、実際に触ってみて、自分に合う検索方法を見つけましょう。

#### ・「フリーワード」

検索サイトのように自由に語句を入力して検索できます。

#### ・「プリセット」

予め登録された語句で絞り込んで検索ができます。

#### ・「TAINSキーワード」

収録情報にタグ付けされたキーワードで検索ができます。冒頭の判例には「飲食代」「隠蔽」等89個のキーワードがタグ付けされています。

#### ・「TAINSコード」

冒頭の判例のTAINSコードは「Z270-13406」です。このように、データベースに付与されたコードからも検索が可能です。

このほかにも、判決日付や裁決日付で検索したり、特定の税目等に絞り込んだりすることができます。

うまく検索ができない場合には、ログイン後の右上のメニューのマニュアルに検索方法の動画がありますので、こちらをご覧ください。

### 【相手を知る 行政文書】

「全国国税局長会議資料」や「資産税審理研修資料」、「課税処分に当たっての留意点」等、情報公開法による開示情報として取得した課税庁の内部資料を中心に、民間としてはトップクラスの2,000件以上の行政文書がTAINSには収録されています。

例えば、「調査に生かす」というワードで行政文書を検索すると、調査官向けに作成された文書が138件ヒットします（令和5年4月末現在）。その文書には、税理士にとって貴重な情報が書かれています。税務調査の現場において、税務当局の考え方を知っているのと知らないのでは、結果も変わってしまうかもしれません。是非、ご一読されることをお勧めします。

### 【難解な判例を分かりやすく TAINS MOVIE】

TAINSでは、「TAINS MOVIE」というタイトルで、30分の動画を掲載しています。

税法のデータベースとして、判例等が税理士の視点でまとめられているといっても、難解なものも多く、判決文書に慣れていない人にとっては、読み込むことに多くの時間を要してしまい、それでもなかなか理解ができないというのは苦痛そのものです。

そこでTAINSでは、パワーポイントを使った動画を制作し、昨年4月よりTAINS会員向けに公開をしました。月1本のペースで公開をしていますので、この情報通が発行される頃には15本の動画が掲載されていると思います。

特長は、判例等のポイントを分かりやすく説明しているほか、講師の説明終了後、ディレクター二人による掛け合いをしているところです。

冒頭の地裁判決にも動画があります。この文書は判決文をコンパクトにまとめた「概要」なのですが、概要を読んだだけでは、税務調査で税理士がどのように関わっていたのか等詳細までは分かりません。動画内では詳細に説明をしていますので、是非ご覧ください。ちなみに、筆者にとってこの判例はインパクトのあるものでした。

この動画は、ログイン後の右上のメニューの研修サイトに「TAINS MOVIE (30分研修動画)」がありますので、そちらからご覧ください。

### 【ブックマークにTAINSを登録しよう】

溢れかえる情報の正確性が求められるなかで、「税理士がつくる、税理士のためのデータベース」は税理士であれば当然に活用すべきだと思います。まずは、ブックマークにTAINSを登録して、お客様から相談されたとき、難しい判断を求められたときに、同じような事例がないかをTAINSで調べてみましょう。きっと、TAINSが助けてくれることでしょう。